

カイロの雨

水たまりに

マンションの屋根が映っている

やわらかい線だ

電線のカーブはもっとやさしい

水の中に

突然 青空が現れ

思わず 空を見上げる

青いあじさいが たつぷりと水を含み

しずくが太陽にきらめいている

カイロで見たあじさいは

赤く干からびて 埃をかぶっていた

ブルーゲンビリアの赤も紫も埃色

この世に生を受けたばかりの

若芽も埃をかぶっていた

花屋の花は別として

埃をとり除いたハイビスカスの色に

あこがれた

お金持ちの家は庭師が水をまき

芝生も生け垣も街路の緑とは差があった

草木があるだけでも貴重なのだが

この差は うつとしい

身体の中に詰まった埃

心も目もかすんでしまいそうな埃はイヤ

平等に与えられる水は

雨だ

雨が降りさえすれば
緑は皆一緒に蘇るだろう
私の身体中の埃も
とれるかも知れない
雨が降りさえしたら……

天気予報の欄はいつも晴れ
予想気温の数字が載るばかり
半年たっても毎日晴れ
あきずにめげずに毎日晴れ
ある昼さがり

日本の夕立に似た雨が降ってきた
雨足に力があつた

埃をたたき流すには充分だろう
亜理も亮介もベランダに飛び出した
ホラー 世界が変わるヨ

葉っぱが本当の緑になるヨ
雨 雨 ウレシイネー

記憶にある日本と同じ自然現象に
遇ったせいかな

いつもと違うことが起きたせいかな
母親の喜びが通じるのか

亜理も亮介も
手を振って小躍りし

九階のベランダから公園の緑を見下ろし
髪を濡らしながら はしゃいでいた

コックのアワードも

子守のファトマも

秘書のソーニャも

雨を認めただけで 持ち場を動かなかった

野次馬根性はたっぷりある筈なのに
私たちを見る目もよそよそしくて
目の底が冷たかった
雨をはさんで

読めない異民族の空気が立ちはだかった
親愛なるムスタフアが上がつてきた
雨に沸き立った表情はなかった
どうして？ なぜ？

屋根のない家にすんでいる人がいる
カイロには排水溝がないから
街中の道は泥沼になっている

アレキサンドリアには
排水溝があるけれど

アレキサンドリア生まれの彼の
郷土愛の言葉も入って

真実味があった

雨が降って緑がきれいになるなんて
そんなこと……

お互いに絶句した

一時間の雨降りの後に

虹が立った

おあつらえ向きなのに

見当はずれの理想に燃えた

新任教師みたいな姿の私の前で

虹は

ひどく長居をした

五歳と三歳の亜理・亮介と手をつなぎ
外に出た

行き先を失った埃が

雨に溶け込まないで暴れていた

午後三時でも一度太陽が出れば

熱の力は大きく

水蒸気を従え

カイロ中に漂っていた種々の油と

排気ガスが意気投合し

復讐心を感じるほど

妙な臭気の煙幕を張っていた

木々の葉には こびりついた汚れが

まだらに残っていた

泥沼に化けた舗装道路で

エンコした車を押している人

いつもより もっと 刺のある罵声が

泥のはね返りに比例して

ビルの谷間を飛び交っていた

店のガラスの汚れも

雨が降った印

ぶどう棚を屋根にしつらえた家の

濡れたふともも

雨が降った印

雨が降りさえしなかったら

といううめきが見えてきた

三百六十五分の一か二という確率の為に

切り捨てられる人々の営み

ピチピチ チャプチャプ ランランランの

節まわしは

出そうにも出せなくて

おし黙り

母子三人

カイロの雨を踏みしめた